

受入機関 南部町役場未来を創る課

受入地域・受入機関の概要

「見てごしない、桜と蛍の舞う町 南部町」をキャッチフレーズに重要里地里山に選定された環境と大国主神の再生復活神話が伝わるまちです。

「共生」「協働」「環境」をまちづくりの基本理念として掲げ、里地里山の良さを感じながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続け、自然環境や歴史・文化等の地域の資源を生かしつつ、将来にわたって発展していく活力を創出し、持続可能な南部町の実現を目指しています。

大国主再生の地



想定される実習内容

南部町役場から紹介いただく主に以下の団体から実習先を選択し、活動内容は実習先と相談して進めます。なお、南部町グローバルプログラムは、総務省が実施する地域おこし協力隊インターン制度と連携しています。

- (1) なんぶ里山デザイン機構（移住定住サポート、空き家物件の利活用、しごとコンビニ事業、地域活性化イベント企画・運営等）
- (2) 南部町総合型地域スポーツクラブ（スポnetなんぶ）（各種教室、100歳体操、各種イベント等）
- (3) JOCA南部（法勝寺温泉、障害者支援、子どもの居場所支援等）
- (4) その他、地域活性化に繋がる活動を行う各種団体（地域振興協議会等）

担当部署から一言：

鳥取県南部町をご存じですか？
人口最小県のカントリーサイド。でも、
かわりしろは
最大級！

小さな町の
大きな挑戦を
ぜひ一緒に！

未来を創る課



「南部町最大の魅力は『人の良さ』関われば関わるほど成長できました」（実習生談）



地域の伝統行事にも参加



実習生が共同生活するハウスシェアリングに、地域の皆さんをお招きして体験談会



移動手段は主に電動自転車。地元の方から声かけられることもしばしば！



送任時には、涙のお見送り

受入機関 海士町役場郷づくり課

受入地域・受入機関の概要

島根県・隠岐諸島の中ノ島にある海士町は、かつて過疎化と財政危機に直面していたが、「ないものはない（①ないものは無くても良い、②大事なことはすべてここにある、の2重の意味）」をモットーに、「よそ者」も受入れた活力あふれるコミュニティづくりをすすめ、日本の地方創生のトップランナーとなっている。



想定される実習内容

海士町役場がオリエンテーション期間中に紹介する以下の業務の中から、実習先の方と相談して進める。
なお、海士町グローバルプログラムは、総務省が実施する地域おこし協力隊インターン制度と連携しています。

- (1) 教育委員会と連携しながら地域の自然、歴史、文化、伝統行事、産業などの魅力の掘り起こしおよび発信し地域住民のふるさとへの理解促進に取り組む。
- (2) コミュニティスペースとして整備されている施設において、町民同士の交流を目的とした活動の活発化に取り組む。
- (3) 魅力ある地域資源の発掘とその活用を通して観光振興に取り組む。
- (4) その他、オリエンテーションで紹介する農園、牧場、医療・福祉関連、地域住民が実施する集落整備等の地域活性化に取り組む。
- (5) 住居については、日須賀及び知々井にある女性用、男性用のシェアハウスにて、共同生活を行う。
- (6) 移動手段については、基本的に電動アシスト自転車での生活となる。



担当者からの一言：

ないものはない！
来たら分かる！
海士町にござらっしゃい！



郷づくり課 森田瞳子